



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,  
 OSAKA, JAPAN

February 2004~05 No.8  
 Chartered July 20, 1982

## 主題 YS THEME (2004~2005)

センテニアルクラブ会長 : 『 人が人として心豊かに生きるために! 』  
 国際会長 : "Let Your Light Shine" 『 輝かせ あなたの光を 』  
 アジア会長 : "Love your neighbors as yourself."  
 『 自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ 』  
 西日本区理事 : 『 "皆な仲間" 働こう!! 』  
 中西部長 : 『 響き合い、ともに歩む 』

## クラブ役員 Officers

会長 : 石津 雅人  
 副会長 : 谷川 俊一  
 // : 鎌田 史朗  
 書記 : 山田 孝彦 (主)  
 // : 栗山 佳三  
 会計 : 三浦 直之 (主)  
 // : 鎌田 史朗  
 対外会長 : 坂本 千香  
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

## 月間強調テーマ : 『 TOF・CS 』

㊦㊦㊦ 2月の聖句 ㊦㊦㊦

【 Biblical Message of February 】

㊦㊦㊦ 2月の例会 ㊦㊦㊦

【 February Club Meeting 】

愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。神は独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きようになるためです。ここに神の愛がわたしたちの内に示されました。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。いまだかつて神を見た者はいません。わたしたちが互いに愛し合うならば、神はわたしたちの内にとどまってくださり、神の愛がわたしたちの内ですべてされているのです。

(ヨハネの手紙 I 第4章7~12節)

### ○ 2月第1例会

日時: 2005年2月16日(水) 18:30~20:30  
 場所: 大阪YMCA土佐堀館 3階302号室

司会 藤原 正巳君

1. 開会点鐘 石津 雅人会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 石津 雅人会長
4. 聖句朗読 浜野 昌保君
5. 今月のテーマ「TOF/CS」中村 茂高君
6. クラブ総会「次期クラブ役員選出」
7. スピーチ「フランスのエスプリ」  
島田 邦雄氏
8. インフォメーション 各担当
9. お誕生日祝い・ニコニコ献金 一同
10. 閉会点鐘 石津 雅人会長

### ○ 2月第2例会

日時: 2005年2月23日(水) 18:30~20:30  
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9階

\*2月例会当番 3班 (藤原、中村茂高、浜野、黒田池永)

\*2月お誕生日 Happy Birthday!  
 福永メネット16日、田中メネット19日、  
 石津メン21日、池永メン25日、

## ㊦㊦㊦ Attention Please ㊦㊦㊦

1. 2月第1例会は、YMCA会館で開催です。タイム・オブ・ファスト月であり、食事はありません。スナック菓子などをお持ちください。暖かいお茶は、用意します。3月からは、リーガランドホテル(中之島)になります。
2. お年玉つき年賀ハガキの当選切手(14シート)、金額換算1,800円をご持参ください。目標枚数に達しないときは、差額を現金でお持ちください。CSファンドに寄金します。

## 【クラブ統計 Statistics】 下欄( )は、うち 広義会員を表わす

2005年1月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 20(1)名	メン	13(1)名	7名	1月:切手 245 gr.	1月: 16000円
	メネット	5名	名	現金 1,500円	
例会出席 13(1)名	ピシター	5名	名	(04年7月~05年1月の)	(04年7月~05年1月の)
うちメークアップ 2名	ゲスト	2名	名	累計:切手 2,120 gr.	累計: 95,900円
出席率 63.2%	合計	25名	6名	現金 13,000円	[ 除く、クリスマス献金、 オークション、記念献金 ]

## 1 月 第 1 例 会

### 【 Report of the January Club Meeting 】

(1月19日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル)

プリテン 松浦 孝次

○1月例会は、東洋ホテルで開催(次月から会場が変わるので最後になります)。メン13名、メネット5名、故鈴木謙介メンの息女の上原玉音さん(東京クラブ)、藤好基子さん(なかのしまクラブ)、近くDBCを結ぶ東京セントラルクラブから石井一也会長、谷地英俊さん、また石井さんと親しい小島規似郎さん(豊中クラブ)が出席され、合計25名がなごやかに、新年の例会を楽しみました。

○畠中 彬メンの司会のもとに、福永嘉彦メンの聖句朗読、藤原正巳メンから「IBC/DBC」についての解説がありました。この日東京セントラルクラブから2人お見えになったのは、まさによいタイミングでした。

○藤好基子さん、上原玉音さんから、鈴木謙介メンが、1月2日 自宅のベッドで、静かに眠るように息をひきとられたこと、昨年のクリスマスもおだやかに過ごされ、1日には雑煮も食べられた由。年賀状を用意されていたが、宛名を書かないまま出さずとなったと、われわれメンバーにその記念すべき賀状を渡されました。出席者一同、鈴木さんはいつもこの席に座っておられたなあ、とありし姿を偲びました。鈴木家から、クラブに記念献金をいただきました。(アメリカン資金に投入させていただきます)

○東京セントラルクラブの石井一也さんから鈴木さんを偲ぶ話があり、谷地英俊さんからはオーソドックスな例会で参考になる、との感想を述べられました。

○ゲストスピーカーの熊谷栄三郎さんは、「京都新聞の文化部記者、論説委員を経て、2000年に退職後 エッセイストとして活躍されている」、との紹介が藤原メンからありました。

「おもしろ楽しくおーい老い!」をテーマに、新聞記者としての幅広い見聞と博識に基づき、古今東西の人材を題材にした、ユーモアあふれるスピーチは、人生の機微にふれる内容で、いろいろと考えさせられることの多い話でした。

50年にわたる溪流の探訪—ヤマメ釣りを趣味とされているが、山奥に入ることによって、そば作り(これは不思議と人が集まる)、草花の天ぷら、抹茶をたてる、茶器を造る(山千流!)・・・と、趣味が広がっていったこと。

還暦を迎えて考えたのは、まわりに死の情報が増えてくる、自分のスタンスをどう定めるかが大事だ。85歳以上で1/4はボケるそうだ。ボケは、実は身内を含めて全てのものとの関係を絶って、静かに死んで生きたい気持ちを表しているのではないのかと。

怖れずに明るく死を迎えたい、と結ばれました。

○報告タイムでは、浜野昌保YMCA連絡スタッフから、インド洋大津波災害への募金協力の礼、さらにYMCAクリスマス献金の協力をよろしくとの要請がありました。

### ≡≡≡ 今月の聖句に寄せて ≡≡≡

今月の聖句は言葉が重複して、やや理解し難い表現になっていますが、要するに「私たちの方から神様を愛したのではなく、神様の方から、その独り子をこの人間の歴史の中に送るほどに愛して下さった、そうしてその独り子イエスの生涯を見せて、この人を見よ、この人にこそ神の愛の心が具体的に現れているのだ、だからあなた方人間はこの人を通して神を見ることが出来るのだ」と教えておられるのだと思います。

私たちは神様を見たことはありません。しかし愛を実践するとき、神に触れることができるのです。

今月はTOF、すなわち空腹を通して、困っている人々のことを思い、それらの人々への援助を考える月です。弱者に対する思いやりこそ、神の愛の具現であり、神の意志を理解できる好機です。

うち続く世界各地の豪雨、地震、津波は人間の傲慢を打ち砕く神の警鐘とも受け取れます。このときこそ神の前に謙虚になって、ひたすら愛の業の実践に励むべきではないでしょうか。

(聖句選、コメント：黒田敬之)



(上：1月例会 熊谷さん「楽しく老いを」と語る

下：1月例会 ゲストをまじえワイズソングを歌う)

## 1 月 第 2 例 会

### 【 Report of the January Club Meeting 】

( 1月26日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA )

#### 1. 2月第1例会プログラム

第1面記載のとおり。また、1月には出来なかった次期クラブ役員の選出を行う。

#### 2. 確認事項

(1) 御殿場での西日本区・東日本区合同親睦会(2/19~20)の席上、東京セントラルクラブとのDBC締結を行ない、19日夜に両クラブの交流会をもつ。

#### 3. 協議事項

- (1) 次期クラブ役員の選出を2月例会で行うにあたり、候補者について再度確認した。
- (2) 3月から、例会の会場を「リーガランドホテル」に変更。例会費は3,000円(500円、20%のアップ)。メネット会費は1,800円(300円、20%のアップ)とする。会場は5階「桂(かつら)」、支配人:山本能弘氏、宴会担当者は、笹田、小野寺、龍後の3氏。連絡先:06-6202-1212(代表)
- (3) 「鈴木健介さんを偲ぶ会」は、4~5月の土曜・祝日に、YMCA会館で開催予定。ご家族と調整して。実行委員は、石津、山田、藤原メン。

## お 知 ら せ

#### 1. 大阪YMCAクリスマス献金のお願い

地域奉仕や国際協力に用いられるクリスマス献金に、YMCAの協力会員としてぜひご協力ください。

#### 2. 土佐堀YMCA環境教育セミナー

「異常気象はなぜ?」講師:気象研究者 岩本智之氏  
05年2月4日(金) 18:30~20:00  
土佐堀YMCA会館 無料

#### 3. ワイズメンズクラブ・東西日本区交流会

05年2月19日(土)14時 ~ 20日(日)12時  
日本YMCA同盟 国際研修センター・東山荘(御殿場)  
東京セントラルクラブとのDBCの締結式を行います。

#### 4. チャリティ映画会「アイ・ラブ・ピース」

「アフガニスタンの少女の声に耳を傾けませんか・・・」  
05年3月5日(土) ①10時~12時 ②13~15  
③16~18 の3回上映があります。  
土佐堀YMCA2階ホール 会費:前売1,200円  
大阪ワイズメンズ主催/土佐堀YMCA共催

#### 5. YYフォーラム

05年3月26日(土) 14時~17時  
土佐堀YMCA会館

## YMCA ニュース

大阪YMCA統括本部 浜野 昌保

\* 今月の例会は大阪YMCAへお越しいただきます。第2例会は、毎月YMCAで行っておりますが、第1例会は 昨年5月のデファレンスディ以来です。会館をご利用いただきありがとうございます。寒い日が続きますが、皆様お元気でお集まりください。

#### ★子育て応援講演会

テーマ:笑って学ぶ子育てのコツ  
~なまいきな現代の「こども」と楽しくつきあう方法~  
講師:岩城敏之氏(キッズいわき ばふ代表)  
日時:2月5日(土) 午後2時~午後4時  
場所:大阪南YMCA4階ホール  
参加費:無料  
問合せ:大阪南YMCA Tel06(6779)5690

#### ★大阪YMCA自立支援セミナー

テーマ:軽度発達障がいの子どもたちを支援するために  
日時:2月6日(日) 午後1時~午後5時  
場所:大阪南YMCA4階ホール  
参加費:2,000円(資料代)  
問合せ:土佐堀YMCA Tel06(6441)0895

#### ★第9回イキイキ健康生活セミナー

テーマ:いまのうちに聞いておこう! 介護食編  
~家庭でできる、さざみ食・軟食・とろみ食~  
日時:2月12日(土) 午後2時~午後3時30分  
場所:YMCAサンホーム  
参加費:無料  
問合せ:YMCAサンホーム Tel06(6787)3733

#### ★第142回大阪YMCA早天祈祷会

日時:2月18日(金) 午前7時30分~  
午前8時30分  
場所:大阪YMCA会館 10階チャペル  
証し:山佐垂津子さん(大阪YMCA学院スタッフ)  
問合せ:大阪YMCA Tel06(6441)0894

♫

#### 6. チャリティ・ボウリング大会

05年2月21日(月) 18時30分~21時  
桜橋ボウル 5階(西梅田・桜橋交差点の西30米)  
会費は 一般3,000円、学生1,500円  
土佐堀YMCA運営委員会 主催 先着40名  
会員、学生など、土佐堀YMCAに集う人たちが集まって、ボウリングで交流し、また収益金をクリスマス献金に捧げようという趣旨です。  
申し込み:大阪YMCA Tel06(6441)0892 神田さんまで。

## 偉大なる先輩

### 鈴木 謙介メン 召天される

1月2日8時28分、ご自宅でご家族に看取られながら、天に召されました。享年93歳（1912年3月24日 岐阜県中津川市で出生、1936年名古屋中京教会で受洗、1938年 岡本教会で 和田美藤さんと結婚式挙式）

1月2日前夜祭をご親族で営まれ、1月6日 日本キリスト教団 岡本教会で告別式が執り行われました。当日は、ワイズメンズクラブ、YMCAをはじめとして、各地から幅広い分野の方々が弔問されました。

告別式は、村上鉄彌牧師の司式によって、しめやかに執り行われ、鈴木メンのご生前の信仰生活を聴き、氏愛唱の讃美歌「真実に清く生きたい 誠実な友のために・・・」から始まる520番を歌い、在りし日のお姿を偲びました。一同、菊の花を祭壇に献花しました。

岡本教会正門からお送りする際に、センテニアルクラブのメンバーが主導して、ワイズメンズの歌“Once More we Stand”を英語で、続いて日本語で唱和しました。

氏は、1958年度の日本区8代理事、1975年度の国際会長を務められました。以下、鈴木メンと古くからの付き合いの方々、寄稿していただきました（寄稿順に掲載）。

#### 鈴木謙介さんを偲ぶ

黒田 徹之

去る1月2日、私たちの敬愛する鈴木謙介さんが忽然と神様のみもとへ召されて行かれました。あまりにも急なご逝去で、呆然とする思いです。

しかし、逝かれた今、私たちは鈴木さんの遺された足跡の大きさに、深い感動と尊敬の念を深くします。戦前、戦中、戦後を通じ、一貫してワイズメンとしての奉仕の心を実践された方、また人との出会いを非常に大切にされたことが印象に残っています。

センテニアル・クラブ時代、「ENCOUNTER ON THE Y'SMEN'S ROAD（ワイズメンの途上における出会い）」というタイル製のプレート（文鎮）を頂いたことがあります。鈴木さんはその文字の通り誰にでも親近感をもたせる方でしたが、特に新しく入会した人を大切にされ、誰よりも先に話しかけておられました。

あの温顔やお声や、また英国紳士然としたハンサムなお姿にはもう接することはできませんが、あくまで人を大切にされたお人柄を私たちは見習って参りたいと思います。

葬送の讃美歌の中に「玉の冠かかげ持ちてイエス君は待ち給う」という句がありますが、今やまさに神様より「善かつ處なるしもべであった」とお褒めの言葉を受けておられることでしょう。

鈴木さん、長い間、本当にお世話になりました。



（1992年 西日本区大会での 鈴木謙介ご夫妻）

#### 出会いの大切さを教えてくれた鈴木さん

谷川 寛・有美子

鈴木さんが国際会長になられた時、選ばれた国際のスローガンは“Encounter on the Y's Men's Road”でした。意味するところは、「ワイズメンになると多くの人々との出会いがあり、これを大切にしよう」という意味と私は解釈しました。「出会い」で思い出すのはデンマークの思想家、キルゲゴールという人の言葉です。

私もワイズに入ったおかげで、多くの素晴らしい出会いがありました。鈴木さんに、その出会いの大切さを教えていただきました。

BF 代表で、私がアメリカのハリスバーグでホームステイした折、そのお宅のお嬢さんで小学校の先生をしている人にお会いしました。開口一番、「ケン・スズキを知っているか？」とたずねられました。

彼女はその前の年、東京を訪問、鈴木さんのおられた大丸東京店を訪問、店を案内してもらい、「あなたの欲しいものを何でも選びなさい」といわれたそうです。鈴木さんの初対面のアメリカ人に対する対応に感激したそうです。彼女は、自分の父親がワイズメンであったおかげでこのような経験ができたのだ、と私に興奮気味に話してくれました。鈴木さんのアメリカの友に対するもてなしのおかげで、滞在中の私も心暖まるもてなしを受けたのはいうまでもありません。

鈴木さんが、大阪に移られて新しいクラブ「大阪センテニアル」のチャーターに際して、土佐堀クラブにいた中村隆幸さんと私に誘いがかりました。それ以来、同じクラブに所属して、わがメネットともども、心暖まる“交り”をいただき、心から感謝しています。

今は、美藤さんと天国で再会されて昔のワイズについて話が弾んでいることでしょう。天国での平安と、歿されたご一家の上に主の恵みが豊かにありますようにお祈りします。

## 鈴木さんとの出会い

中村 隆幸

“Encounter on the Y's Men's road” この言葉は、アジア人として初めてワイズメン国際会長になられた鈴木謙介さんの国際会長標語であります。私は1974年7月にほやほやのワイズメンの一人として、ワシントンの国際大会に参加し、そこで次期国際会長である鈴木さんに出会いました。1975年にアジアで初めて開催される熱海の国際大会と、国際会長になられる鈴木さんを盛り上げるために、日本からおよそ70~80名のワイズメンがワシントンに行きました。

ワシントンのホテルでは、同室の故水谷氏と意気投合して、夜は部屋を開放して即席のナイトクラブにし、日本のメンバーや外国のワイズメンが多数やってこられて、非常に楽しい国際交流が始まりました。その話を聞きつけて鈴木さんも美藤夫人とやってこられました。非常に気さくな方だという印象を受け、いろいろとワイズメンの話の聞かせてもらった記憶が、今でも鮮明に残っています。

国際大会でも、次期国際会長としての演説もすばらしいものでありました。そして、この標語を選ばれた理由や、多くの人々との出会いが、ワイズメンの国際的活動にいかにか大事かを述べられたと思います。私も、ワイズメン運動という道において、鈴木さんというすばらしい方にめぐりあい、人生にとって多くの人々と出会うことが、どんなに幸せなことであるかを実感した次第であります。

今後、鈴木さんから学んだことを忘れずに、多くの人々との素晴らしい出会いを求めて、ワイズメン活動を続けていくつもりです。どうか天国から応援してください。ご冥福をお祈りいたします。

## 謙介さん さようなら

隅田 恵子

世界大会や日本区の大会に参加した時拝見した謙介さんはとても偉い方でした。そして同じクラブで、すぐそばでお話を伺い、ワイズのメンバーである事ことの喜びを実感することが出来ました。

私たちメネットは親しく尊敬を込めて、謙介さんと呼ばせていただいております。美藤さんがおられた頃と同じようにお花がいっぱいのご自宅で、とても居心地よく迎えて下さり、メネット会を開かせて頂いたり、メネット活動の物品販売にもとてもご協力下さったり、いつもいつもやさしく見守って下さいました。

例会に出席してもいつものお席にお姿を見ることが出来ないのはとてもさびしいです。これからは謙介さんと美藤さんが教訓して下さったことをいつも心に想いながら、メネット力を合わせて仲良く奉仕して行きたいと思っております。本当にありがとうございました。



( 教会の祭壇の遺影に献花 )

## 鈴木さんを偲んで

田中 稔二

鈴木さんにお目にかかったのは、私が大阪Yの若いスタッフの一人として勤めていた頃、当時の上司 奈良 伝 綾主事から2人のアメリカ人を案内して大丸の鈴木さんの所に案内するよう命ぜられた時が、初めてでした。

鈴木さんはその後東京の大丸に転勤され、わたしはワイズに入っておりませんでしたので、時々YMCA同盟の会合でお目にかかる位でしたが、帰阪されてからはお話を伺う機会も増えました。

ワイズとのつながりは、日本のワイズメンクラブの前史ともいえる、北京のYMCAで活躍されていた奈良伝さんに、天津勤務となった鈴木さんが協力して、ワイズを設立された時にはじまるようですが、帰国後は日本最初の大阪ワイズに入会され、そして、会長や日本区理事をはじめ、アジアから最初の国際会長として熱海での国際大会を主催され、「世界の鈴木」となられたことは、ご存じのとおりです。大阪Yの創立100年を期に作られたわがセンテニアルクラブは、その創立に際して自ら書記をかって出られ、大丸から山中さん、山田さんをキーマンとして招かれ、国際的感覚に立つワイズメンクラブの育成に努められたことは、とくに私たちメンバーにとって忘れられることは出来ません。

「ワイズやYMCA運動は希望を持って、先の方に夢を持って、それに向って皆が力を合わせることに本質がある」(ワイズ必携)と述べておられます。昨年夏頃から例会を欠席されていまして、年末にお見舞に伺いましたが、これがワイズとして最後の見舞客であったようですが、私は上記のお話を最古参のワイズ・鈴木さんの遺言として、重く受けとめ継承したいと思っております。

鈴木さん、天国でYMCA、ワイズを見守って下さい。

## 鈴木さんをお送りする



( 上 : みんなでワイズソングを歌ってお送りしました  
下 : 鈴木さんを乗せた車です )

## IBCクラブニュース

藤原 正巳 (IBC・DBC委員長)

### "Alpha from Hawaii" :

ハワイヌアヌクラブ、プリテンから抜粋

○鈴木謙介メンの逝去に対し、「鈴木謙介さん、私たちはあなたをいつまでも忘れません」とのクラブメッセージが掲載されています。

### ○次期クラブ会長に James Chong さんが就任

同クラブでは、次期会長に James Chong さんを選出されました。ご活躍を祈ります。

### ○Larry Hiranaka さんが「ジャンケンポンゲーム」で大勝利

同クラブのクリスマスパーティーは、32人の会員、会員家族、ゲストが出席して、12月11日ホノルル ♂

## Club Activities (January, 2005)

On January 19th, the club's January meeting was held at the Toyo Hotel with a total of 25 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance. We were very happy to welcome the delegates of the Tokyo Central Club, Y's man KAZUYA ISHII, president of the Club and Y's Man HIDETOSHI YAJI.

We are scheduled to have our first DBC affiliation ceremony with the Tokyo Central Y's Men's Club on February 20, 2005.

Two daughters of late KENSUKE SUZUKI, Y's Menette, HATSUNE UEHARA of the Tokyo Y's Men's Club and Y's Woman MOTOKO FUJIYOSHI of the Osaka Nakanoshima Club, expressed their appreciation to the members of our club who attended the funeral service, telling us what KENSUKE SUZUKI liked before. We all thought of him deeply, looking at the seat he always took at our club meeting.

The highlight of the meeting was a speech made by Mr. EIZABURO KUMAGAI, a noted essayist, who spoke about his unique view on our aging life. Although the theme he spoke was rather gloomy ones, we were overwhelmed at his speech with joy and loud laugh.

Y's man MASAYASU HAMANO, Osaka YMCA liaison officer, expressed thanks to those who participated in the Fund raising campaign held on the street for the victims of the great Tsunami disaster on January 10, 2005.

Yen 16,000 was collected at the meeting for the club's Niko-niko (smiling) fund.

♂ カントリークラブで開催されました。余興のジャンケンポンゲームでは、Larry Hiranaka さんが勝ち残り、「巨額な」掛け金を独り占めにしました。

### ○Phyllis Sakane さんハワイ血液銀行の役員に就任

同クラブの有力会員である Phyllis Sakane さんは、ハワイ日産自動車から転職され、本年1月からハワイ血液銀行のIT担当役員に就任されました。まことにおめでとうございます。

### "Bauhinia News"

香港 Bauhinia クラブニュースより抜粋

### ○新会員4人の入会式実施

新会員の入会式は、12月13日の例会で17人の会員が出席し、盛大に挙行されました。おめでとうございます。

### ○1月の例会は取り止め

1月例会は、2つの老人ホームへの訪問実施のため取り止めになりました。

## 中西部・阪和部 合同新年会

新年早々の交流を行いました

05年1月8日(土)午後、土佐堀YMCA2階ホールで、両部あわせて280人が参加して開会。大阪なかのしまクラブ、大阪河内クラブがホストクラブ。わがクラブからは、石津、藤原、三浦、山田、谷川寛、田中、松浦メン、黒田(お久しぶりです)、松浦 両メネットが出席しました。

第1部は、最初に 故 鈴木謙介メンのご冥福を祈って黙祷。松本武彦・中西部長、柴田善朗・西日本区理事の挨拶のなかで、大先輩 鈴木メンを悼む言葉がありました。

次期部長として、北村知三メン(大阪クラブ)、恵美奈博光メン(大阪サウスクラブ)が紹介されました。恵美奈メンの挨拶でも、1975年熱海の国際大会で鈴木メンが「一期一会」をモットーとして挙げられた話が紹介されました。

第2部は、“DUO TAKASE”の高瀬 真理・瑞穂夫妻のヴァイオリン・ピアノの協奏で、“美しき青きドナウ”からはじまり、タンゴ、ラテンなど、親しい曲を楽しみました。食事のあと、参加クラブの紹介がありました。

新年早々の交流を大いに楽しんで、17:30散会しました。特筆すべきは、席上、スマトラ沖津波被害への義捐金の募金が、166,089円も集まったことです。日本YMCA同盟を通じ、被災地域のYMCAが行う救援、復興活動に用いられます。

### スマトラ沖津波被害への緊急支援

#### 街頭募金を行う

1月8日(土)11時から13時まで、昨年12月26日に発生した大地震に伴う災害を救援するため、大阪YMCAとワイズメンズクラブが合同で、街頭募金を急遽行いました。場所は梅田地区3か所。

寒風が吹く日でしたが、ワイズメン、YMCAスタッフなど60人近くが率直し、159,571円が集まりました。これは、大阪YMCAが協働しているスリランカYMCA(被害が甚大)の復興支援に供せられます。

わがクラブから、石津、藤原、三浦、松浦メンが参加しました。(以上2項の文責 松浦)

### 1月B Fニュース

#### 【Report of the Brotherhood Fund in January】

山田 孝彦(書記)

◇現金提供者:山田君、中村隆幸君

◇切手提供者:浜野、山田、中村隆幸、谷川寛、田中、隅田、福永君

○今月の殊勲賞:浜野君 70gr



(上2枚: 合同新年会、280人が集まりました)



(下2枚: Yとワイズが 梅田の歩道橋で街頭募金を)

# THE OSAKA CENTENNIAL



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

## ゲストからのメッセージ

○格式と伝統あるクラブ例会に出席でき、お世話さまで、多くの方々それぞれの役割を分担され、いろいろ学ぶことが沢山ありました。DBCを結ぶ機会を与えられ光栄に思っています。ありがとうございました。

(東京セントラルクラブ 石井 一也)

○今日は妹(藤好)と二人で、父のお世話になった貴クラブへお礼を兼ねて出席させていただきました。これからも宜しく願います。

(東京クラブメネット 上原 玉音)

○偉大なる私達の指導者、鈴木謙介先生のご召天を悼み、残念に思います。センテニアルクラブチャーター以来、何度ともなく訪問いたしました。最近約7年とだえており申し訳なく思っています。本日は何となく黒田ワイズと石井ワイズのお招きに寄り、久方ぶりに出席させていただきました。感謝しています。

(豊中クラブ 小島 規似郎)

○父の愛したセンテニアルの例会に出席させていただき、暖かな方々に囲まれ、子供のように幸せを感じております。今夜はメンではなくコメントでした。

(なかのしまクラブ 藤好 基子)

○新春の例会に参加させていただきありがとうございます。食事おいしい、メンバーが楽しい、スピーチが面白い、肩が凝らない例会、素晴らしい。早くわがクラブもやわらかで楽しい例会になるよう”学ぶ”例会でした。

(東京セントラルクラブ 谷治 英俊)

## “ごぶさた”メッセージ

○本年もどうぞよろしくお願い致します。ご案内いただきましたが、出張の予定が入っています。(谷川 俊一)

○ご連絡ありがとうございました。残念ながら都合が悪く欠席させていただきます。(島田 邦雄)

## 会員からのメッセージ

○多くのゲストを迎えての楽しい例会でした。しかし、鈴木謙介さんの顔を見なくなったことは本当に残念です。これからも皆様と力を合わせて良いクラブとしていきたいものです。(石津 雅人)

○まず、鈴木謙介先輩のご召天は一大痛恨事でありました。本日はまた、わざわざ東京セントラルクラブから石井一也会長と谷治英俊氏がご訪問いただきありがとうございました。また小島規似郎氏もよくおいでくださいました。(黒田 蔵之)

○上原さん、藤好さんより鈴木さんの最後のご様子を伺い、改めて鈴木さんのいらっしゃらないわがクラブは寂しくなったなあと思いました。

(坂本 千春)

○今日の例会では鈴木様のご息女が出席くださり本当にありがとうございました。お父様のご冥福をお祈りいたします。近況、本当に忙しくしております。久しぶりに例会に参加しました。(新保 正秋)

○東京からもゲストをお迎えし、にぎやかな例会でした。来月の御殿場は楽しみです。また、玉音さん、基子さんも出席くださり、ありがとうございました。

ぜひ、メネットの集いを持ち、謙介さんのお話しを伺いたいと思います。(隅田 恵子)

○東京セントラルワイズの石井・谷治両氏をはじめ、多くのゲストと共に、1月例会を迎えることができ喜んでいますが、但し今後、鈴木先輩のお姿を見ることができないことは大変悲しいことですが、残された私たち一同がその意志を継いで頑張ります。

(田中 穂二)

○鈴木さんを思ひ返す出席者もあり、素晴らしい例会でした。1年のスタートにふさわしい例会でした。

(谷川 寛)

○鈴木メンのネームプレートを見て涙が出てしまいました。でも私たちの心の中にいつまでも生きています。私もユーモアのある老いを演じたい。

(中村 幸枝)

○鈴木さんにアメリカンキャンプの開会式でお目にかかり、少し痩せておられたので気がかかっていたのですが、本当に残念です。どうぞ私たちの活動を、天からお見守りください。

(中村 茂高)

○鈴木謙介様の思い出を改めて噛みしめています。今回のDBCの発展をお祈りします。関係者の方々、ご苦労様です。感謝!

(福永 嘉彦・滋子)

○やはりにぎやかな例会がいいですね。新年早々、幸先のよい門出ですが、いつもこのような例会でありたいと願っております。

(藤原 正巳)

○東京セントラルからのお二人、ようこそご出席下さいました。DBCを結んで交流させていただくことを楽しみにしています。熊谷さん、カブけられるお話しをありがとうございました。

(松浦 孝次)

○ゲウト、メンバーが多数参加されて、大変楽しい例会でした。熊谷さんのお話しは、ユーモアがあり、楽しく聞かせていただきました。

昨年、西日本区大会がホテル百万石であり、鈴木さんと一緒にすることが思い出され、さびしいかぎりです。

(松浦 和子)

○鈴木謙介様のご冥福をお祈りします。数々の鈴木語録が思い出されます。

(三浦 直之)

○黙って座っていても何やら存在感のあった「謙介さん」の姿がもう見えないのは寂しいけれど、センテニアルは、まだまだこれから新しい道を拓いていくことで、謙介さんから受けたワイズスピリットを発展させて行きましょう。

(山田 孝彦)

## 《 編集後記 》

鈴木謙介さんが天に召されました。大変悲しいことですが、鈴木さんは、わたしたちが引きつづいて、ワイズ精神に則ってボランティア活動や交流を進めていくことを願っておられることでしょう。どうか見守ってくださいますように。

(松浦 孝次)



[ハワイのヒラナカ・ファミリーから追悼文が、谷川寛  
メンを通じて、寄せられました。氏の抄訳を合わせて  
掲載します]

MR. KENSUKE SUZUKI,  
OUR JAPANESE GRANDFATHER

I was very saddened to learn that Mr. Suzuki passed away. He was a very special person to me. I will never forget the day when he gave me the Mizuno baseball glove. It is a memento that he gave me. When I received the glove from him, it was way too big for my hand, but he specifically said to use the glove to play baseball in high school. I have never forgotten what he told me and I will try my best to play baseball through high school.

I will always remember the dinner we had together atop Mt. Rokko. The fine dining experience, nice view, and great food will always be special memories. I will also never forget what he sent to me on many occasions, delicious vanilla, chocolate and strawberry *gaufres*, my favorite snack. If it is possible, I'd like to call him my *Japanese Grandfather*. I will never forget him.

Love, Scott Sakaida

私の日本のおじいさまが亡くなられて大変悲しいです。おじいさまは私にとって特別の方でした。私にミズノの野球グローブをくださった時のことが忘れられません。今となっては形見の品物です。そのグローブを頂いた時は、私には少し大き過ぎました。そしたら、おじいさまは、私が高校に行くようになったら使うようにおっしゃいました。是非、そうしたいと思います。六甲でいただいたご馳走や、多くのおいしいお菓子のことが忘れられません。どうぞ、鈴木様を、日本のおじいさまと呼ばさせていただきます。

スコット・サカイダ

~~~~~

We were deeply saddened and sorry to hear about the passing of our dear friend and *Japanese Grandfather*, Mr. Kensuke Suzuki. We will always be grateful to him for extending such overwhelming love, kindness and generosity to our family, and especially to Scott. He was such an extraordinary and honorable man who touched our lives in indescribable ways: intelligent and wise, compassionate and caring, elegant and humble.

We know that Scott will continue to carry in his heart the many values and lessons that *Grandfather* Suzuki shared with him through their conversations in Hawaii and Japan, many ♂

♂ telephone conversations and written correspondences.

As a 7<sup>th</sup> grader at Iolani School, Scott is taking a class in Japanese, because he wanted to be able to speak, read, and write in Japanese with him, and to fulfill his promise to again spend some time with him in Japan.

It has been very difficult for Scott to fully accept that *Grandfather* Suzuki has passed away. However, we know that in time, Scott will come to understand that *Grandfather* Suzuki's calm and gentle spirit will always remain with him as a guiding force in his daily life. His values and gentle ways will also guide all of us as we remember him in our hearts and in our daily lives. All of this was possible because of Y's Dom. We truly cherish the love and caring that he bestowed upon us and will do our best to continue his dedication to the goals of Y's Dom.

With all our love,

Larry and Mae Hiranaka  
Eric and Lauree Sakaida

私達、ヒラナカ一家にとって日本のおじいさまである鈴木様が亡くなられたことを知り、大変悲しく残念に思っております。私たち家族に、そして、殊にスコットにいただきました暖かいご厚情とご親切に心から感謝を申し上げます。鈴木様は、知的で、優雅で聡明なお方で、私たちに限りない慈愛と人を思い遣る暖かさをくださいました。そうしたかげがないお方でした。

スコットは、鈴木様との会話を通して学んだ事柄を決して忘れないでしょう。今、学校で日本語の勉強をしており、いつの日かまた日本で過ごすことができることを楽しみにしております。

スコットには、鈴木様が亡くなられたということ、すんなり受け入れることが難しいようです。しかし、きっと本人がそれを理解して、鈴木様のお優しいお気持ち、これからのスコットの人生の大きな道しるべとなることを確信しております。

私たち家族にとっても、鈴木様はわたくしたちの心に、そして毎日の生活の中に常に生きておられます。これからも、私たちを導いてくださると信じます。これが可能なもワイズの精神の賜物でしょう。その目的達成のためにさらに心を尽くしたいと思っております。

ラリー、メー・ヒラナカ  
エリック、ロリー・サカイダ

( 訳責 谷川 寛 )